



会社案内  
1993-1994

ASCII



# New ink, New inc.

アスキーは、  
情報を彩る新しいインク“New Ink”で  
感動と満足をお届けする新しい会社“New Inc.”  
でありたいと願っています。

紙にインクがしみこむように、  
人びとの心にしみこむような情報を  
アスキーはお届けしたいと考えています。  
本や雑誌という、紙の上の情報。  
コンピュータ・ソフトウェアという、磁気の上の情報。  
半導体チップという、シリコンの上の情報。  
そして、オンラインでコミュニケーションされる情報。  
いろいろどりのインクがひとつにとけあうように  
いろいろな情報を楽しんだり役立てたり、  
ソフトウェアの機能を活用してビジネスや生活を快適にできるような  
そんな価値ある情報、価値あるソフトウェアを、  
私たちは、世界へ向けて発信していきたいと思います。

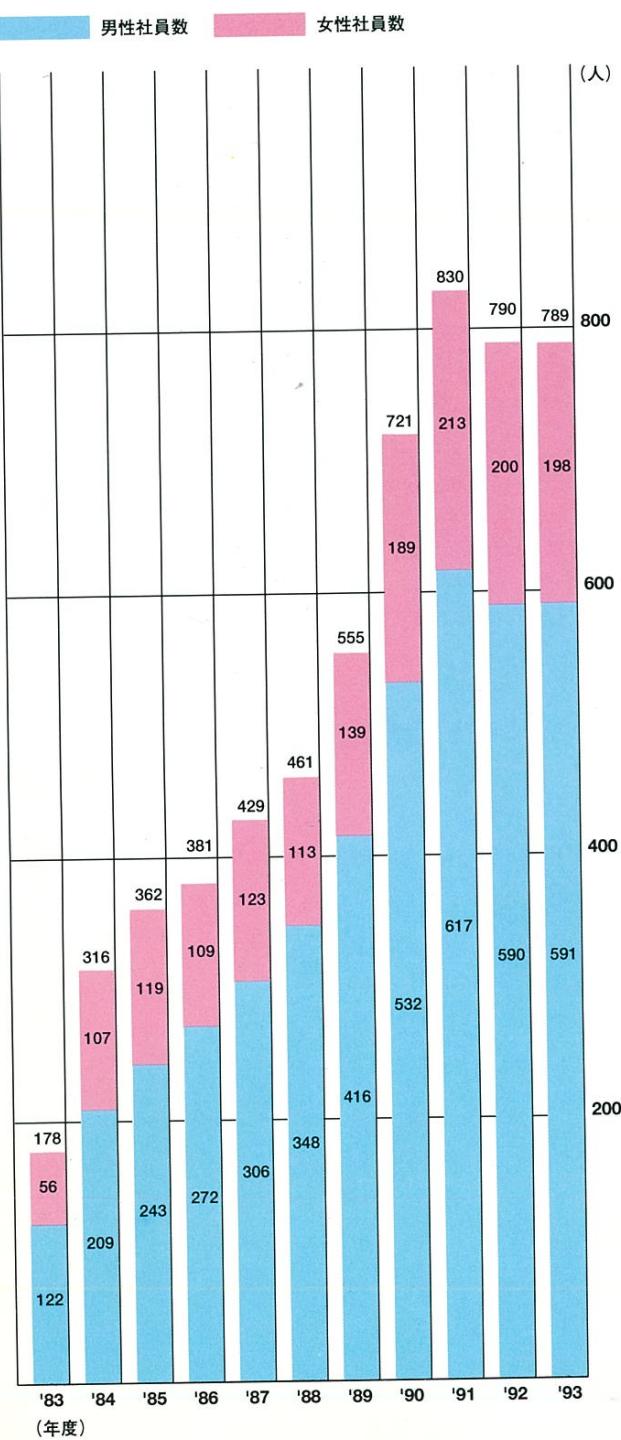




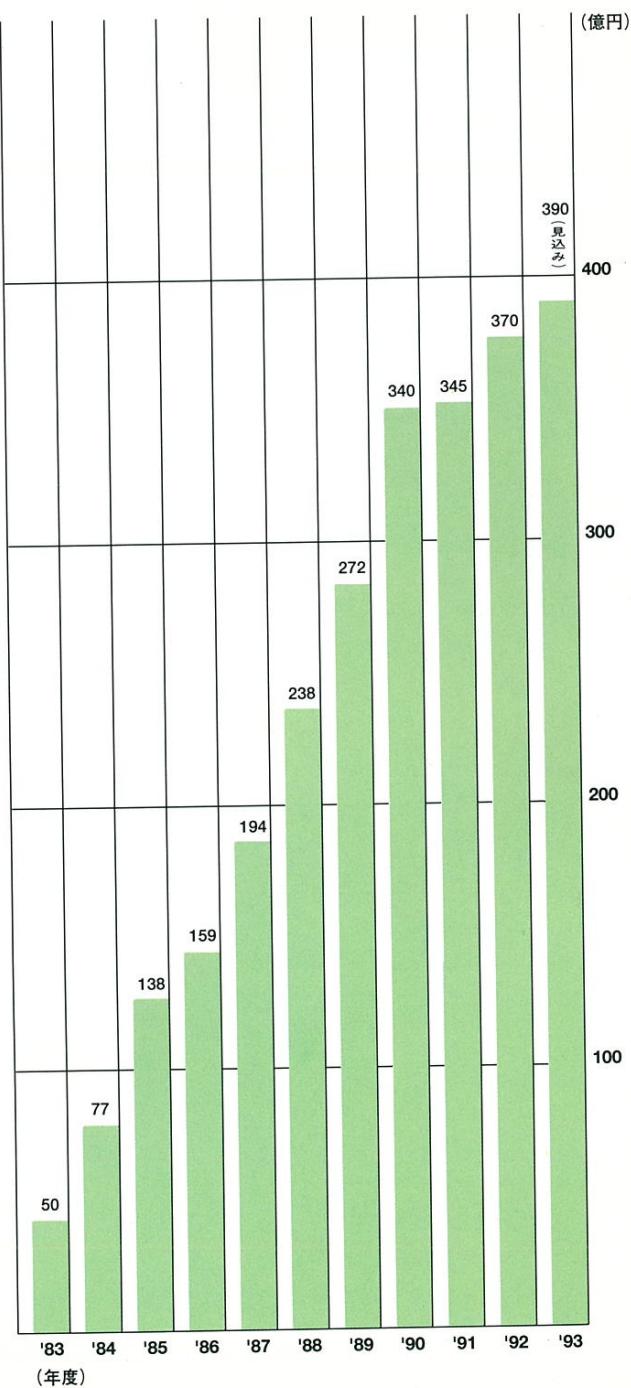
●実績

コンピュータの可能性を信じて、  
より多彩に、パワフルに飛躍しつづけます。

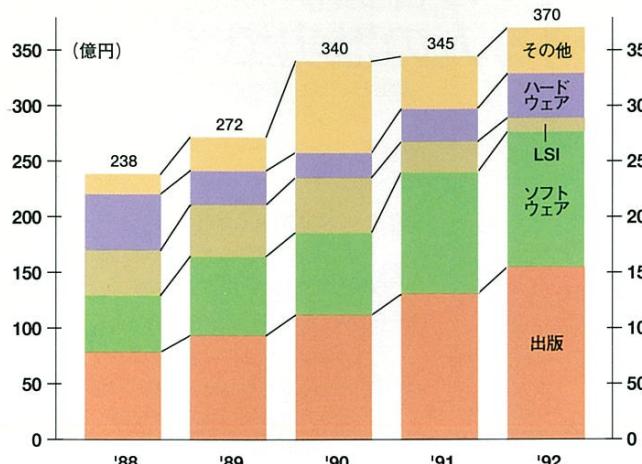
■社員数の推移



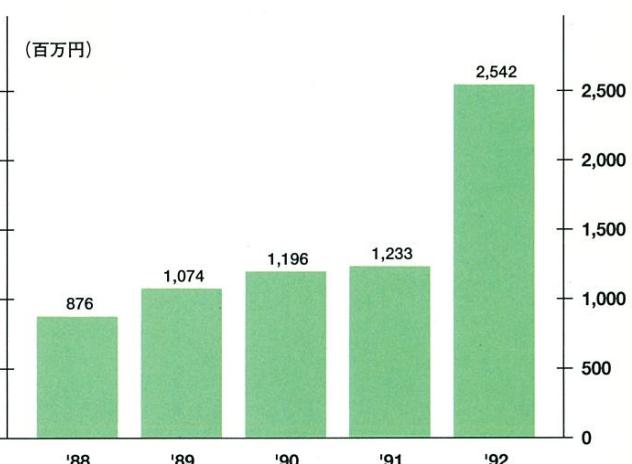
■売上高の推移



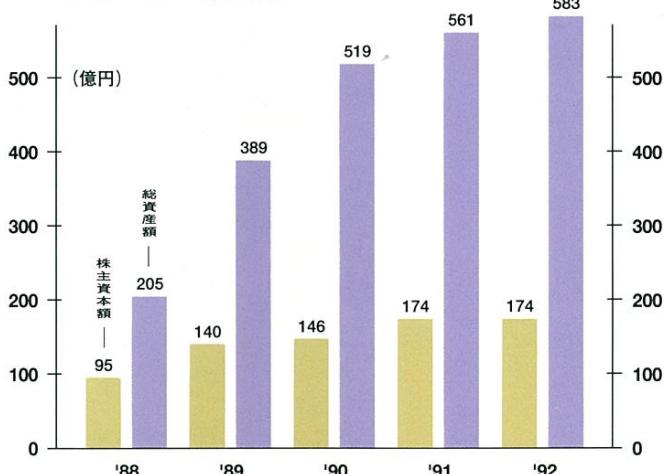
■部門別売上高



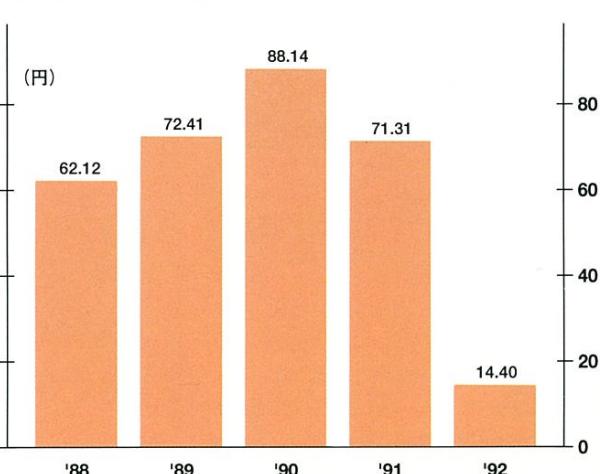
■経常利益



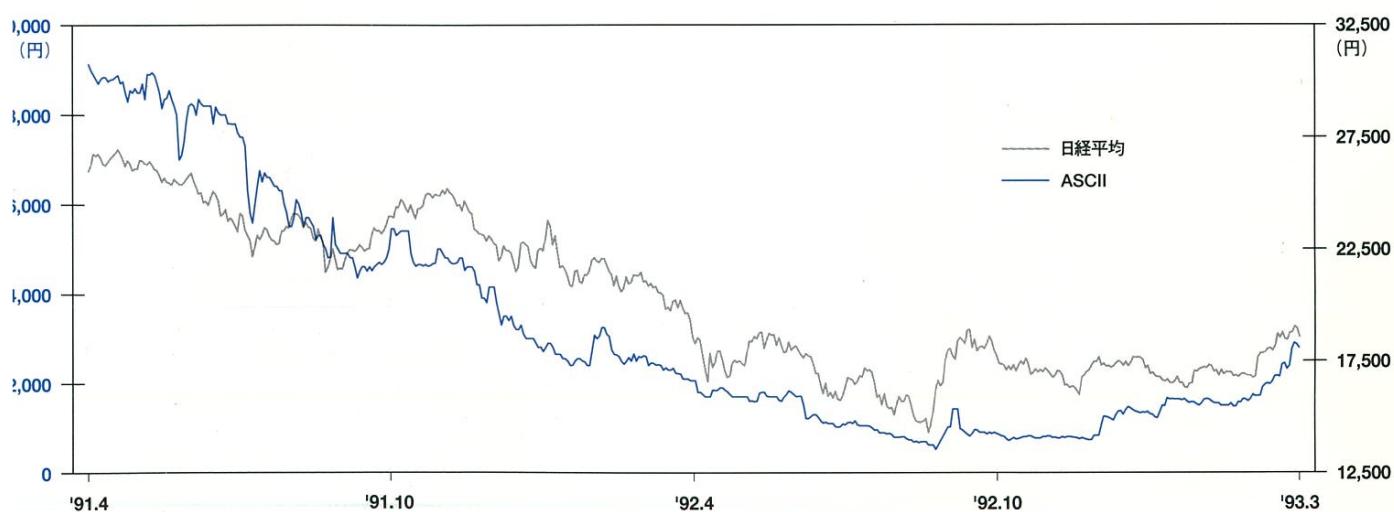
■株主資本額と総資産額



■一株当たり当期利益



■株価



# パソコンで生まれた数々の神話。 アスキーの歴史は使う人、創る人の歴史です。



1977年●パソコンの神話、始まる。  
(株)アスキー出版の設立メンバー。写真右より、社友である都司明郎と塚本慶一郎、そして西和彦。パソコンの夢に挑戦するアスキーは、この若い3人の情熱と行動力で、その第一歩を踏み出しました。

## 1977

5月●東京都港区南青山に(株)アスキー出版を設立(資本金300万円)。  
6月●月刊「ASCII」を創刊。



1977年●パソコンの総合文化誌、ASCII創刊。「コンピュータは、メディアになる」をスローガンに、1977年創刊。パソコン・コンピュータが生み出す新しい文化に焦点をあてて、企業のエンジニアから研究者、一般的マニアまで、幅広い読者にカルチャーショックを与えました。

## 1978

10月●米国マイクロソフト社と提携。同社極東代理店としてプログラム言語「BASIC」を日本に提供。

```
649 IF VIC=1 THEN MYMV+BT#1.5 GOTO 649
650 IF VIC<1 THEN 649
651 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
652 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
653 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
654 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
655 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
656 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
657 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
658 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
659 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
660 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
661 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
662 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
663 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
664 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
665 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
666 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
667 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
668 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
669 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
670 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
671 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
672 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
673 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
674 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
675 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
676 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
677 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
678 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
679 LOCATE 60,10,25 PRINT "Push"
680 LOCATE 60,10,25 PRINT "You win"
```

1978年●プログラム言語「BASIC」を、日本に導入。米国で生まれたコンピュータプログラミング言語BASIC。その使いやすさにいち早く着目したアスキーは、グラフィックスやサウンド機能を付加し、NECのパソコン用にN-BASICを開発して、日本のパーソナル・コンピュータ言語の基礎を打ち立てました。

## 1979

6月●パソコンのマニュアル制作業務をはじめめる。

12月●初のパッケージソフトを発売(PC8001用)。

## 1980

11月●オリジナルソフトウェア・パッケージの開発、販売を開始。

## 1981

9月●パッケージソフトAXシリーズ(PC6001用)を開発販売。

10月●ソフトウェアの開発環境として社内に「UNIX」を導入。

## 1982

5月●月刊「ASCII」の別冊として「ログイン」を創刊。

11月●次世代OSとしての「UNIX」のサポートを開始。

●本社を住友南青山ビル(港区南青山5-11-5)に移転。

12月●(株)アスキー出版を(株)アスキーに社名変更。

## 1983

1月●MS-DOSの日本語化およびサポートを開始。

6月●8ビット・パソコン統一仕様「MSX」を提唱。

●日本で最初のマウスを発売。

11月●月刊「MSXマガジン」を創刊。



1983年●8ビットパソコンの統一仕様、MSXを提唱。

パーソナル・コンピュータの標準化が必要である。この信念に立って、アスキーは8ビットパソコンの統一仕様を提唱し、1983年、ついに実現させました。このMSXは、1990年には累計で400万台の生産台数を突破。韓国、オーストラリア、CIS(旧ソ連)、中東、ヨーロッパ、南米など、世界中で販売されています。

## 1984

2月●米国インフォミックスソフトウェア社と提携し、リレーショナルデータベース事業を開始。

●「MSX」が83年日経・年間優秀製品賞を受賞。

4月●半導体事業へ進出。

●日本楽器製造(株)[現ヤマハ(株)]との共同開発によりMSX2用LSIを開発。

12月●任天堂(株)とライセンス契約締結。

## 1985

5月●「MSX」の上位仕様「MSX2」を発表。  
●アスキー・ネットワークの実験稼動開始。

7月●カード型データベースソフト「The CARD」発売。

12月●MSX100万台キャンペーンを行なう。

## 1986

3月●マイクロソフト社との独占代理店契約を解消。

6月●隔週刊「ファミコン通信」を創刊。

7月●(株)ソフトウイングの設立に参加。

10月●月刊「UNIXマガジン」を創刊。

## 1987

- 2月●ISDNにおける動画通信システム/電子図書館システムの研究開発に参画。  
●アスキーネットを有料化し、実用サービスを開始。
- 4月●西副社長が社長に就任。
- 10月●アスキー10周年感謝キャンペーン実施。

## 1988

- 1月●パーソナル通信放送ネットワーク(株) [現アスキーネット(株)]を設立。
- 2月●日本電気(株)との共同開発による  
256Kビット画像処理メモリーが87年  
日経優秀製品・サービス賞を受賞。  
●米国ダラスに現地事務所(AOA)を開設。
- 4月●大阪営業所を大阪支店に昇格。
- 5月●X/Openに日本のソフトウェアメーカーとして初参加。UNIXの標準化を推進。
- 6月●「ログイン」月2回刊となる。

11月●米インフォミックス社に資本参加し、提携強化。

- FPGA市場で米半導体ベンチャー企業クロスポイント社に資本参加。  
●将来のコンピューティング・システムの中核技術開発のため、HyperDesk社を設立。

12月●アスキーネットPCS、CCITT国際標準に準拠した9600bpsモードを使用した高速サービス開始。

- 月刊「ラップトップ」を創刊。



1990年●アスキーソフトウェア開発センター設置。  
プログラマーひとりひとりに、コンピュータやソフトウェアツールだけではなく、それらを統合する情報通信システムとアメニティ環境を提供するために設置されたソフトウェア開発センター。システムの中心に、高速・大容量の光LANを導入するなど、日本における最大規模のソフトウェア開発ネットワークを実現しています。

## 1989

- 2月●月刊「マックパワー」を創刊。
- 4月●「UNIX」環境の標準機構であるOSF (Open Software Foundation)とUII (Unix International Inc.)に参加。
- 5月●米国インテグレーテッド・インフォメーション・テクノロジー社に出資、日本総代理店契約を結ぶ。
- 9月●(社)日本証券業協会に株式店頭登録。  
●月2回刊「EYE・COM」創刊。



1989年●パソコン・ソフトウェア業界初の株式公開。

1989年9月22日、アスキーは、株式公開という、企業としての新しいステップを踏み出しました。日本のパソコン業界の発展ぶりを示すものとして注目を集め、また、その後の株価も順調に推移し、株主様の期待に沿うよう前進を続けています。

## 1990

- 3月●川崎市マイコンシティpartIIにアスキーソフトウェア開発センターが完成。
- (株)アスキーセミコンダクター[現アスキー三井物産セミコンダクター(株)]を設立。
- 7月●映画事業に進出、アスキーベストロント映画(株)[現アスキーモーション(株)]を設立。  
●月刊「スーパーアスキー」を創刊。
- 10月●米オーサーウェア社[現マクロメディア社]とマルチメディア編集ソフトで提携。

## 1991

- 5月●米半導体メーカーザイログ社に「R800」を汎用MPUでは初めてライセンス。
- 7月●会長(郡司明郎)、副社長(塚本慶一郎)が退任。  
●「ファミコン通信」を週刊化。毎週金曜日に発行。
- 9月●PCMCIA(JEIDA規格)対応の世界初のLSI「J6941」をICカード用に発売。
- 12月●競馬シミュレーションゲーム「ベスト競馬ダービースタリオン」発売。  
●月刊「Windowsマガジン」を創刊。

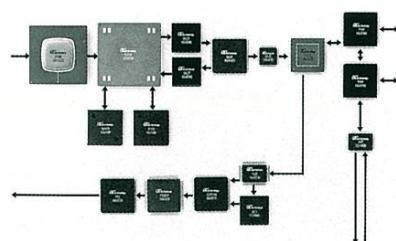


1991年●米半導体メーカーに、汎用MPUでは初めてのライセンス。  
アスキーが1990年4月に開発したオリジナル16ビットMPU(マイクロプロセッサ)「R800」は8ビットMPUとして広く普及しているザイログ社の「Z80」の完全上位互換品として世界最高の速度を実現。このため、ザイログ社は「R800」を「Z80」の後継機種として位置付け、「R800」および「R800」をベースに周辺ライブラリと組み合せたASICを全世界で販売することになりました。

## 1992

- 1月●カラー動画像テレビ電話用VLSIチップセット「X64000」シリーズが日刊工業新聞社「1991年十大新製品賞」を受賞。
- 3月●世界初デジタル動画像配信システムを実用化。アスキー三井物産セミコンダクター(株)が256色表示可能なビルドシステム「BOSCO」を発売。
- 8月●月刊「アスキーコミック」を創刊。
- 10月●情報化促進企業として郵政大臣表彰を受ける。

11月●分散オブジェクト環境構築ソフト「HD-DOMS」日本語版を発売。



1992年●「X64000」シリーズ、日刊工業新聞社「十大新製品賞」受賞。

1991年9月にジー・シー・テクノロジー(株)がカラー動画像テレビ電話用完全VLSIチップセット「X64000」シリーズを世界で初めて商品化。これにより、ISDNに対応した超小型のカラー動画像テレビ電話や、テレビ会議システムの時代がすぐそこまでやって来ました。

## 1993

- 1月●ワープロソフト「JG Ver.3.0」が日経優秀製品賞を受賞。
- 日経パソコン誌第10回ソフトハウス調査で売上高7年連続第1位となる。
- 3月●リレーション・データベース「INFORMIX Ver.5.0」発売。
- コンピュータ産業の誕生の神話と内幕「コンピュータ帝国の興亡」を発行、ベストセラーに。
- 米ノベル社と販売提携、「Unix Ware」を発売。
- 4月●世界初のMPEGデジタル・オーディオ1チップデコーダLSI「DA7190」を商品化。
- 世界初のパソコン用カラー動画像テレビ電話通信ボード「GC64-PC」と留守録機能を内蔵したテレビ電話ソフト「どこでもドア」を商品化。
- 「ダービースタリオン全国版」が日本ソフトウェア大賞ゲームソフト部門優秀賞を受賞。
- 月刊「ログアウト」を創刊。
- 6月●月刊「アプリンク」を創刊。
- 7月●月刊「ネットワークス」を創刊。
- 月刊「ファミコン通信攻略スペシャル」を創刊。
- 9月●東京都渋谷区代々木の新社屋に移転。

## コンピュータ文化の新しい時代を 読者とともに育んでいきます。



アスキーの原点ともいえる出版活動。それは、1977年、初のパソコン総合誌「月刊ASCII」の創刊によりスタートしました。以降、雑誌、書籍、ムック、マニュアル制作、さらにディスク&ブックなどの電子出版や電子編集システムの開発など、多彩な活動を展開。最先端のテクノロジーはもちろん、コンピュータをとりまく文化、ユーザーの立場にたった利用技術の提案、ビジネスやアミューズメント、エンターテインメント、教育まで、そのフィールドを大きく広げてきました。21世紀を目の前に、本格的なマルチメディア時代を迎えようとしている今日、CD-ROMやフロッピーディスクを利用した出版もますます盛んになり、出版技術もより高度に洗練されていくでしょう。アスキーは、今後どのようなメディア、どのような進んだ技術が生まれようと、情報の伝達手段として、また表現手段としての出版の価値は、本質的には不变であると考えています。そして、常に、エンジニアやユーザー、生活者の視点で出版活動を継続していく基本姿勢も変わることはありません。

技術誌からコミック雑誌まで  
カバーするアスキーの雑誌

### MAGAZINE

パソコン文化をリードする月刊ASCII、最新の技術トレンドを重点的に紹介するSuper ASCII、月刊UNIXマガジン、月刊Windowsマガジン、さらに、パソコン初心者の方でも楽しく分かりやすく読める入門情報誌EYE・COM、アプリケーションソフトを徹底解説した月刊アプリンク、マッキントッシュに関する技術動向や利用技術情報を紹介する月刊MacPower、



パソコンを中心とした最新情報を提供する総合誌  
「月刊ASCII」

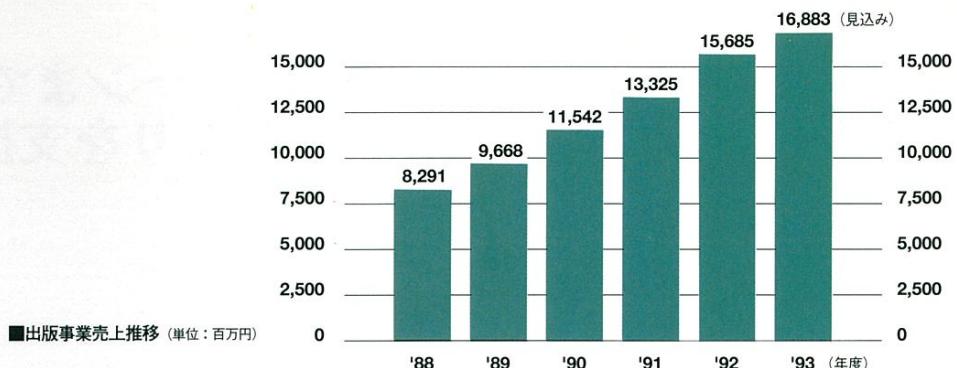
ノートパソコン活用法満載の月刊Laptop、パソコン通信情報誌 Networks、インターネットに徹したLOGiNや週刊ファミコン通信など、パソコン、ファミコンユーザーの情報収集に役立つさまざまな雑誌を発行。また、第一線級のSF作家を中心としたゲーム的小説化やオリジナル作品、ファンタジー、CGなど、盛りだくさんの内容が楽しい月刊誌LOGOUT、コンピュータゲームをテーマにした月刊アスキーコミックにくわえ、ゲーム攻略専門誌月刊ファミコン通信攻略スペシャルも新たに登場。高度な技術専門誌からみんなで楽しめるアミューズメント誌まで、アスキーならではの多彩なラインアップをお届けしています。



コンピュータゲームを題材にゲームの感動と興奮をコミックに。  
「月刊アスキーコミック」



CD-ROMとフロッピーディスクで世界最大の情報量を誇る  
マルチメディアブック  
「HyperLib」



## 技術書からビジネス書まで、 知識と感性の宝庫 アスキーの書籍

### BOOK

最先端のコンピュータテクノロジーからビジネスフィールドでのパソコン利用方法、個人の情報ツールとしてのパソコン活用術まで、アスキーは、書籍というメディアを通じて、コンピュータに



関わる人々、あるいはパソコンに興味をもつすべての人々にさまざまな情報を発信。数々のロングセラー、ベストセラーを送り出しています。

特に、アスキーが初めて試みたディスク&ブックシリーズは、ソフトウェアのプログラムが入ったフロッピーディスクとその解説書が一緒になった画期的な出版物として注目。マルチメディア時代に先駆けた新しい書籍のあり方を示唆するものでした。読者の知性や感性、好奇心に

お応えするアスキーの書籍。これからも、最先端のコンピュータ技術書からパソコン入門書、ビジネス書、楽しく読めるアスキーコミックやゲーム攻略本、ディスク&ブックシリーズまで、アスキーならではのユニークで鋭い視点で捉えた書籍づくりに取り組んでいます。

コンピュータ業界の裏側の世界を赤裸々に描き出したベストセラー「コンピュータ帝国の興亡(上・下)」

使う人の立場で開発。  
アスキーのOEM出版／出版技術

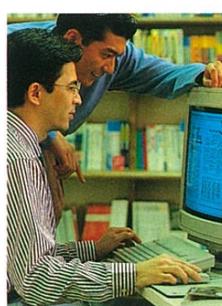
### TECHNOLOGY

[ OEM出版 ] — より分かりやすいマニュアルをめざして、アスキーはメーカーとの協調関係のもと、マニュアル制作の豊富な経験やノウハウを活かしながら、トータルなパソコン学習の環境づくりをお手伝いしています。特に、グラフィックスを活かした画面で見るオンラインマニュアルは、初心者の方々にも大好評。音声や映像を駆使した次世代のマルチメディアマニュアルの開発にも、積極的に取り組んでいます。



ハードウェアやソフトウェアのマニュアル制作では、多くの実績を持つOEM編集

[ 出版技術 ] — 出版技術の電子化が加速する中、アスキーでは、自ら書籍編集支援システムを開発。たとえば、コンピュータをベースにしたEWB（エディターズ・ワークベンチ）では、今まで多くの時間を費やしていた編集と制作工程を大幅にスピードアップ。企画や原稿の執筆といった考える時間を十分に確保することで、内容のクリエイティブも実現しています。アスキーの雑誌、書籍やマニュアルが、スピーディに皆様にお届けできるのは、まさにこのような出版技術がバックボーンとなっているからです。

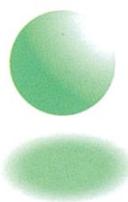


EWBにより、工程の充実と日程の短縮という相反する課題を解決



## ●パーソナルソフトウェア事業

# ビジネスから生活シーンまで パソコンユーザーひとりひとりを支援します。



オフィスから家庭まで、いまや私たちの生活に欠かせなくなつたパソコン。ファックスやコピーマシン、AV機器のように、誰もが簡単に使いこなし、その機能の恩恵を受けられるように…アスキーは、コンピュータを自由自在に使いこなしたいユーザーひとりひとりを支援するためのアプリケーションソフトウェアやサービスを提供。ビジネスソフトウェアからエンターテインメントソフトウェア、各種周辺機器、パソコン通信まで、生活のあらゆるシーンでお役に立っています。これらのソフトウェア・ハードウェアそしてサービスは、優れた機能や使いやすさはもとより、使う楽しさ、コミュニケーションする楽しさも提供。まさに、パーソナルユーザーのためのヒューマンウェアといえるでしょう。

### エンターテインメント ソフトウェア事業部

#### ENTERTAINMENT

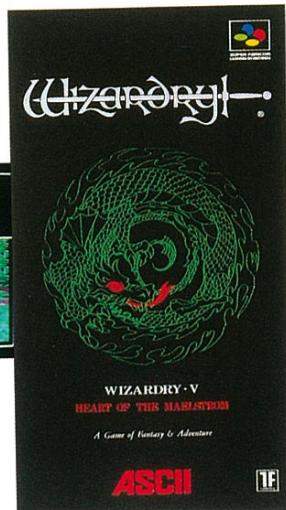
子供から大人まで、コンピュータゲームといえばアスキー。制作者が楽しみながら開発しているゲームソフトだから、おもしろさも超一流。遊ぶ人ひとりひとりが主人公になって、ファンタジー&冒險の世界に入り込んでいけます。特に、アスキーの独壇場ともいえるシミュレーションゲーム、ロールプレイングゲームをはじめとして、アクションゲーム、インテリジェ



大ヒットの  
競馬シミュレーションゲーム  
「ダービースタリオン 全国版」



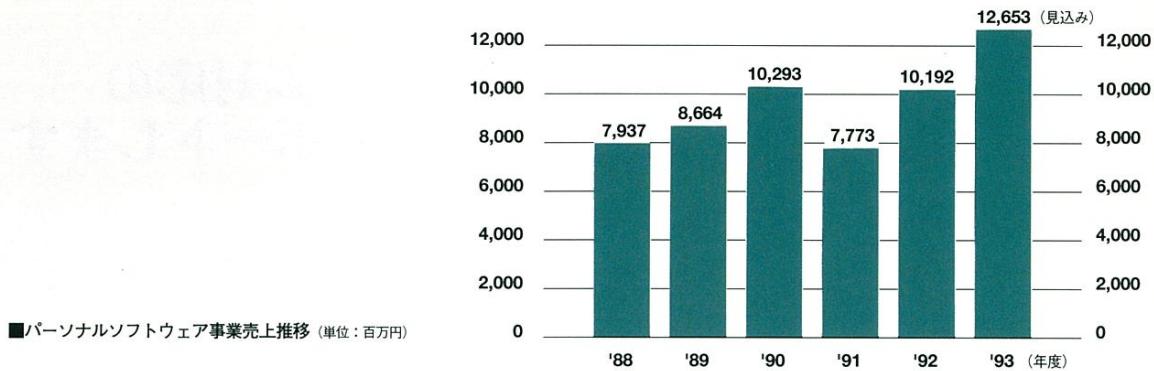
ントプレイヤーズゲーム、その他アニメキャラクターを活かした新しいタイプのゲームなど、創造力と好奇心を満足させてくれるパワフルでエキサイティングなエンターテインメントソフトウェアを次々リリース。また、ゲームを盛りあげる周辺機器 ASCII STICKなども開発しています。



人気シリーズのロールプレイングゲーム  
「ウィザードリィV」



コンピュータゲームを  
一層楽しくする「スーパーアスキースティック」



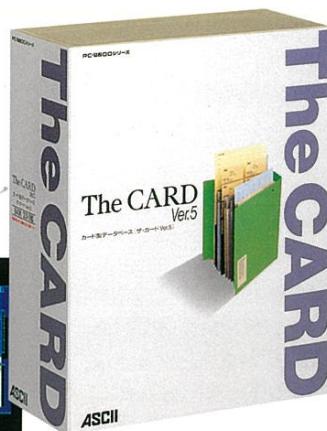
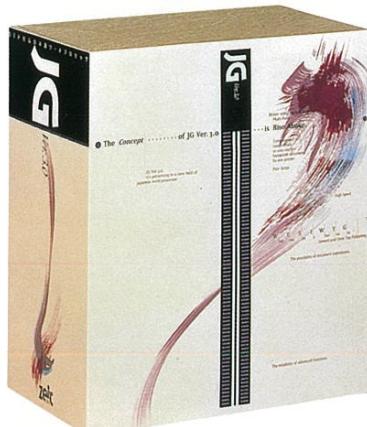
## アプリケーション ソフトウェア事業部

### APPLICATION

ワードプロ  
セッサ、デ  
ータベースと  
いったポピ  
ュラーなビジ  
ネスソフトか  
ら、グラフィックソフトや簡易CAD、3次  
元CADなど、アスキーならではの使いやすくて  
機能的なアプリケーションソフトウェアを開発・販売。いずれも、ビジネスや生活をサ



'92年日経優秀製品・サービス賞（優秀賞）  
日経産業新聞賞受賞。DTP対応日本語ワードプロセッサ  
JG [Ver.3.0]



20万本の実績が  
生んだカード型  
データベースの  
スタンダード  
「The CARD Ver.5」

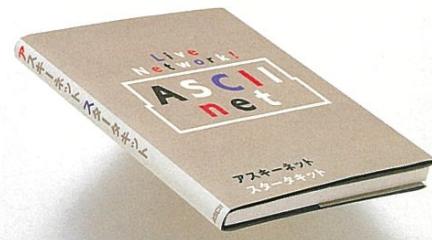
ポートする情  
報ツールとし  
て、あるいは  
趣味を楽しむ  
ツールとして、  
手軽にご利用いただける製品です。

話題のDTP対応日本語ワープロJG、カード  
型データベースの代表的ソフトThe CARDや  
グラフ化ツールCARD3+グラフなどに加え、  
今後、Windows対応のアプリケーションも  
順次開発。パソコンユーザーひとりひとりの  
ニーズにフレキシブルにお応えします。

### パソコン通信事業部

#### PERSONAL COMMUNICATION

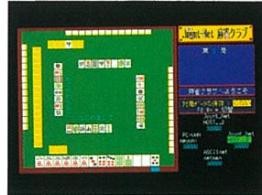
遠く離れた人同士、年齢や職業に関係なく、  
時間と空間を超えた双方向コミュニケーションを実現するアスキーのパソコン通信サービス、アスキーネット。「LIVE NETWORK」をキーワードに、アスキーネット独自のハイ



アスキーネットを無料で体験できるゲストID付の  
「アスキーネットスタートキット」

パノーツシステムを採用したエリアを構築  
できるグループステージ機能、操作性抜群の  
フリーソフトウェアライブラリ【POOL】、  
楽しさいっぱいのオンラインマルチプレイヤー  
ゲーム、データベースサービス【G-Serch】  
やアメリカのパソコン通信サービス【DELPHI】

へのゲートウ  
エイサービ  
ス、登録され  
ている市販ソ  
フトウェアを  
ダウンロード  
購入できる新  
しいタイプの  
オンラインショッピングシステム【Softshop】



オンラインで楽しめる本格麻雀ゲーム、  
アスキーネットの「麻雀クラブ」

オンラインショッピングシステム【Softshop】  
など、ビジネスや毎日の生活に役立つ、便利  
で楽しい快適コミュニケーションをお届けして  
います。

## ●情報システム事業

# マルチプラットフォーム対応の オープンシステム構築をサポートします。



オープンシステムをコンセプトとするダウンサイジング、ライトサイジング時代を迎えてる情報システムは、マルチベンダー、マルチプラットフォームへの対応が、もはや必要不可欠です。アスキーは、時代を先取りしたコンピューティング・コンセプトに基づく最新のソフトウェア・テクノロジーとソフトウェア製品、そしてそれらをトータルに提供する新しいソリューションビジネスを開拓。基幹システムから部門システムにいたるまで、より自由でユーザーオリエンティッドな分散処理環境を目標に、コンサルティング、ソフトウェアの販売、技術サポートやトレーニングを含めたサービスを提供しています。サポートするソフトウェアは、各種ネットワークソフトウェア、アプリケーション開発環境を含むリレーショナルデータベース、ハイパースプレッドシート、分散オブジェクト管理ソフトウェア、ワークグループコンピューティング用のソフトウェアで、UNIX、Windows NT、Windows、MS-DOS、MacOSなど、事実上の業界標準OSに対応しています。

### データベースシステム事業部

#### DATABASE SYSTEMS

ダウンサイジングに不可欠なリレーショナルデータベースシステムINFORMIX(米国インフォミックス社製品、UNIXマーケットでNo.1のシェアを獲得) ファミリーとFourGen社のFourGen 4GL Generatorの販売・サポートを行っています。ターゲットは、OLTP(オンライントランザクション処理)のマーケット。220社以上のVAR会社(付加価値再販会社)を通じたいわゆる代理店販売を行っており、いずれも高い技術力・豊富な経験をベースにしたきめの細かいサポート・サービスで、ユーザー数を確実に増やしています。また、米国インフォミックス社の新バージョンの出荷と日本語版

国内シェアNo.1\*の実績を誇る  
リレーショナル・データベース  
「INFORMIX」



毎日開催されるINFORMIX/WINGZ講習会をはじめ  
内容豊富なサポート&サービスを実施

の出荷を同時にすることを目標にしたALSバージョンをインフォミックス社と共同開発しています。

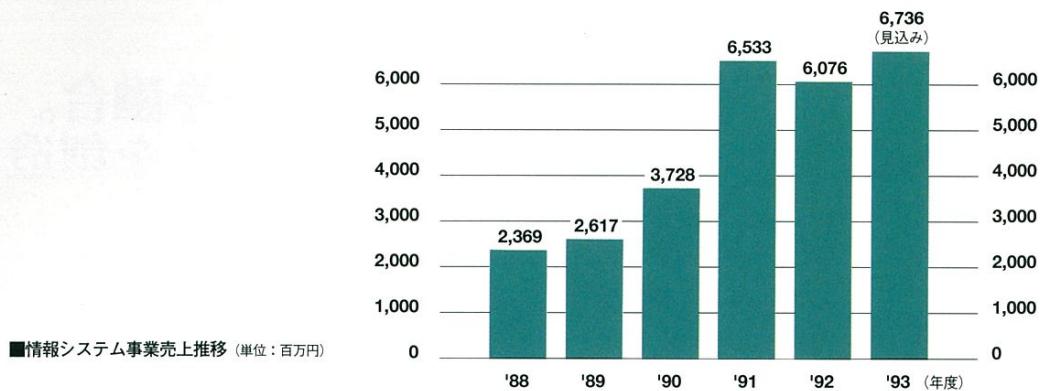
### オフィスシステム事業推進部

#### OFFICE SYSTEMS

分散環境のもとでより快適なGroupwareの利用を推進するために、オフィスシステム事業推進部では、データベース



\*矢野経済研究所  
「UNIXソフトウェア市場の実態と将来展望」(1992) より



さに、マルチベンダー環境におけるオフィスシステムに最適なツールといえます。また、WINGZ APPLICATION PARTNERS (約80社のISVが参加) により、WINGZのHyperScriptを利用したアプリケーションも各種開発されています。



## IPC事業推進部

### IPC PRODUCTS

IPC (Inter Personal Computing) 事業推進部は、マルチプラットフォーム対応の分散処理環境の実現をめざす部門です。IPCとは、

コンピュータネットワークの新しい概念で、

ユーザーは、ネットワー

クを意識せずに自分

のコンピュータから自

由にネットワーク上の

リソースを利用する

コンピューティングス

タイルのこと。ほとん

どのネットワークOS (UnixWare、NetWareなど)をはじめとする主要なネットワークOS) に対応しており、分散環境整備のためのソ

フトウェアHD-DOMS (最先端の分散オブジェクト管理技術でOMG標準に準拠した

Object Request Brokerを組み込んだ製品) の提供、業界標準プロトコル/ユーティリティ

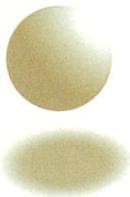
(TCP/IP、InetBIOS、ANASIS PC-NFS、ANASIS X-Server/DOS、ANASIS TELNET/FTP)の提供など、次世代のコンピューティングスタイルの実現を、ユーザーとソフト

ウェアという視点からサポートしています。



世界標準 (CORBA) に  
準拠した分散オブジェクト  
アプリケーション開発環境  
「HD-DOMS Ver.1.0  
SDK 日本語版」

## 最先端のテクノロジーを融合。 高度情報化時代を支えるシステムを創造します。



たとえば、コンピュータと通信技術、コンピュータとビデオ技術、コンピュータとオーディオ技術など、テクノロジーの進歩は互いに深く影響しあい、より洗練された技術や製品・サービスを生みだそうとしています。アスキーは、このような時代の流れの中で、コンピュータとその他の分野を融合するため、最先端技術の研究開発にチャレンジ。システムの一部として機能するソフトウェアモジュールの開発・販売をはじめ、マルチメディアの普及推進、その他さまざまな新分野を開拓しています。アスキーは、80年代からマルチメディアの可能性に注目、開発に取り組んできました。現在取り組んでいるコンピュータと通信、デジタルAVの融合は、まさにマルチメディア実用化への必須技術。高度情報化時代の基盤を形成する基礎技術でもあります。ソフトウェアとシリコンで実現されるテクノロジーのシーズ。それが、より快適な社会を創造する力となることを私たちは確信しています。

### システムソフトウェア シリコンソフトウェア

#### SYSTEM SOFTWARE / SILICON SOFTWARE

パソコンに組み込まれるLSI（シリコンソフトウェア）、システムソフトウェア（BIOS・OS・各種ドライバー等）、それらを組み合わせたボードを開発。主として関係会社のアスキー三井物産セミコンダクター株式会社を通して、各コンピュータメーカーを中心 OEM供給しています。



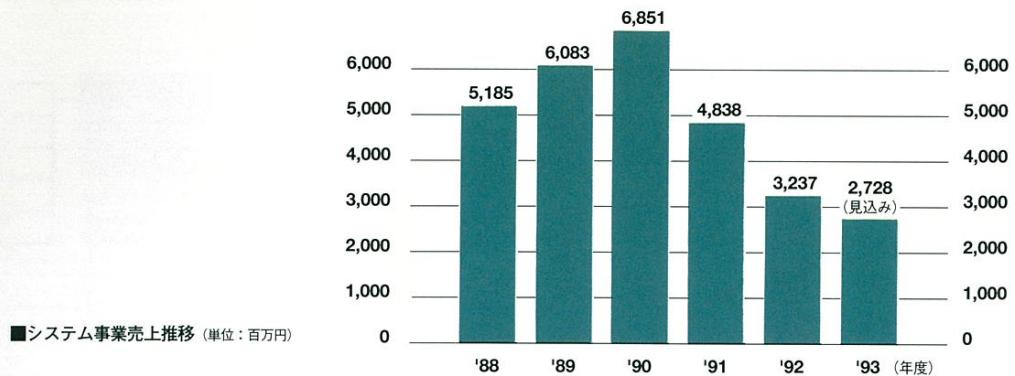
世界初の  
MPEGデジタル・オーディオ  
1チップデコーダLSI「DA7190」  
を搭載した「MPEGオーディオボード」

### PCを利用した各種システム

#### SYSTEM PRODUCTS



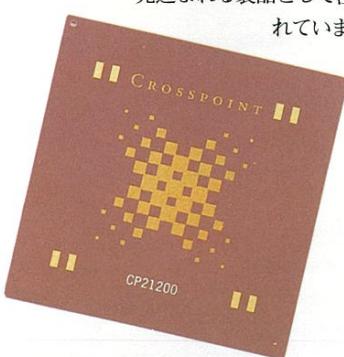
コンピュータテクノロジーと通信技術、動画像圧縮技術を利用して動画像配信システム、マルチメディア時代に欠かせない高機能グラフィックスシステム、ISDNエミュレータ、デジタルオーディオ・ビデオシステムなどを開発。これらは、ソフトウェアを組み込んだチップ、ボード、各種サブシステムの形態でメーカー・法人ユーザーに供給しています。いずれも、コンピュータをはじめとする最先端テクノロジーの融合により実現されたもの。パソコンを知り尽くしたアスキーならではの斬新な発想で開発されたシステムです。



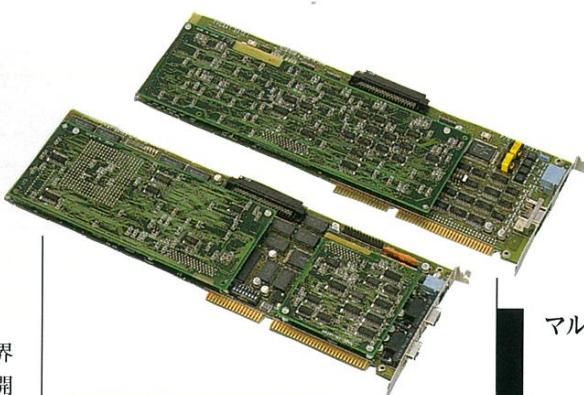
## プログラマブル・ゲートアレイ

### PROGRAMMABLE GATE ARRAY

マスクゲートアレイと等価な構造を持つ世界初のプログラマブル・ゲートアレイとその開発ソフト、書き込み器の開発・販売を推進するクロスポイントプロジェクトを設置。アスキーは、これらの製品の開発元米国 Crosspoint Solutions, Inc. の設立に参画し、日本における総代理店として事業を展開しています。このプログラマブル・ゲートアレイは、LSIの設計・開発効率を大幅に向上させるほか、少量多品種開発に最適といわれ、広範なエレクトロニクス分野で今後急成長が見込まれる製品として注目されています。



ユーザーが  
プログラムできるゲートアレイ  
フィールドプログラマブル・ゲートアレイ  
「CP20Kシリーズ」



世界初のパソコン用  
カラー動画像テレビ電話通信  
アダプタボード「GC64-PC」

## マルチメディア

### MULTIMEDIA



世界初の  
Windows対応  
留守録機能付  
テレビ電話用  
ソフトウェア  
「どこでもドア」

## デジタルコミュニケーション技術

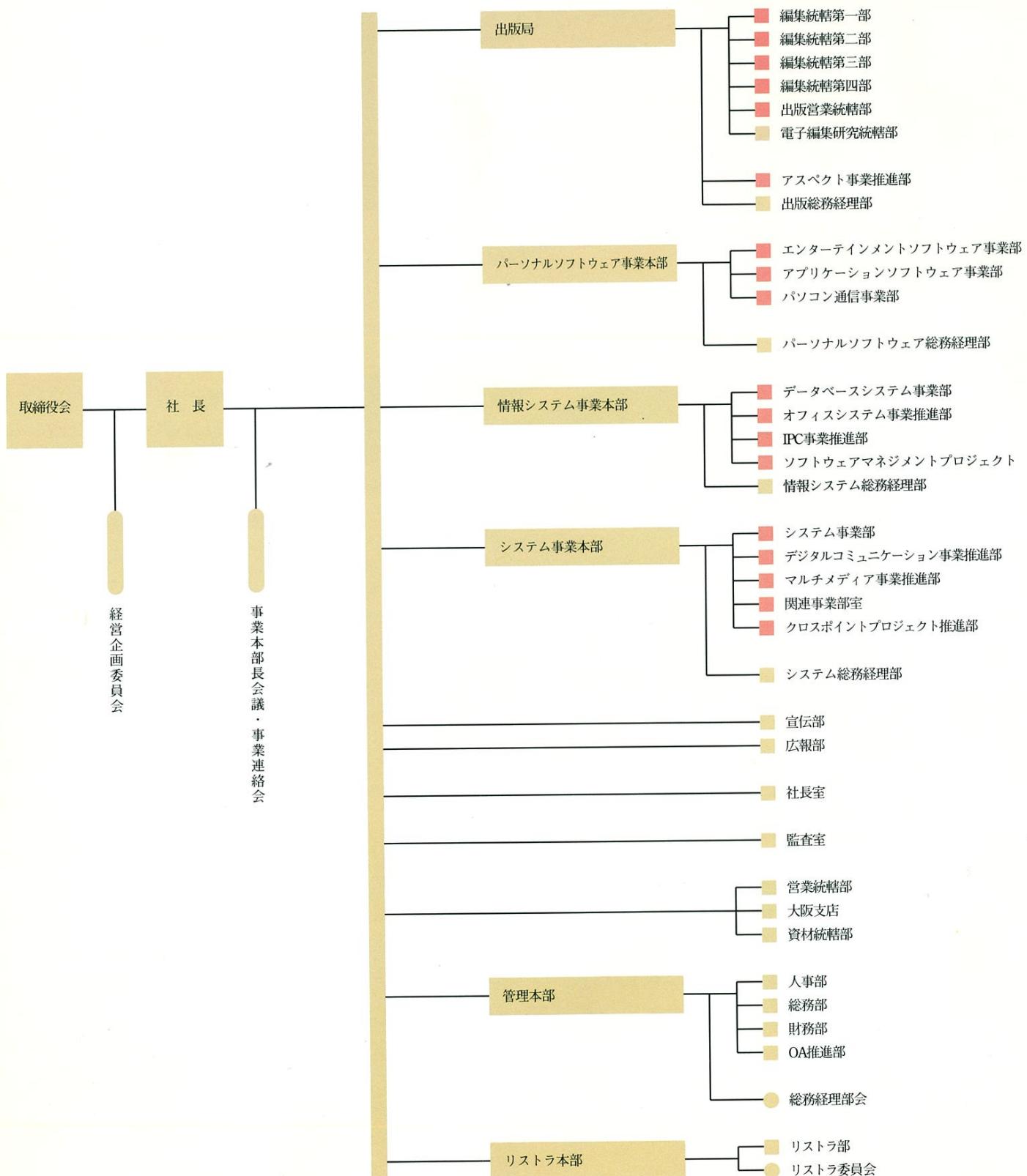
### DIGITAL COMMUNICATION

動画像圧縮技術の基礎研究、その応用としての動画像圧縮用完全VLSIチップセットの開発、TV会議システム、MPEG関連システム／チップやTV電話内蔵パソコンの開発など、次世代にむけての技術開発に取り組んでいるGCT(ジー・シー・テクノロジー株式会社)社の事業を推進しています。



マルチメディア番組制作に欠かせない  
オーサリングツール「オーサーウェア プロフェッショナル」

## ●組織



## ●役員・理事



西和彦  
代表取締役 社長



橋本孝久  
代表取締役 副社長  
管理本部長  
リストラ本部担当



藤井章生  
代表取締役 副社長  
出版事業担当



浜田義史  
常務取締役  
パーソルワクワカ事業担当



滝田賢太郎  
常務取締役  
情報システム事業担当  
情報システム事業本部 事業本部長



藤木正友  
常務取締役  
財務・OA推進担当  
情報システム事業本部 事業本部長



錦織亨  
常務取締役  
システム事業担当  
システム事業本部 事業本部長



高橋健一  
取締役  
システム事業本部  
副事業本部長



川添英孝  
取締役  
人事・総務担当



西村弘紀  
取締役  
出版局 局長



中村奏  
取締役  
パーソルワクワカ事業本部  
事業本部長



小島文隆  
取締役  
出版局 副局長



野村英三  
取締役  
パーソルワクワカ事業本部  
副事業本部長



能勢仁  
取締役  
出版局 出版営業統轄部  
統轄部長



藤原洋  
取締役  
システム事業本部  
デジタルコミュニケーション事業推進部  
事業推進部長



吉村文雄  
取締役  
情報システム事業本部  
副事業本部長



渡辺洋  
取締役  
アート映画株式会社  
代表取締役副社長



板花達  
理事  
監査室 室長



大友健司  
理事  
総務部 部長



小笠原直樹  
理事  
広報部 部長



川上深  
理事  
パーソル通信事業部  
事業部長



倉田遼一  
理事  
システム事業本部  
関連事業部室 部長



栗原英次  
理事  
財務部 部長



黒崎佳果  
理事・パーソルワクワカ事業本部  
エターナルワクワカ事業部  
CS推進部 部長



サダ・チダンバラン  
理事  
ASCII OF AMERICA INC. 社長



塩崎剛三  
理事  
出版局 編集統轄第二部  
統轄部長



鈴木仁志  
理事  
出版局 編集統轄第二部  
PC開発部 部長



惣宇利宏  
理事  
システム事業本部システム事業部  
PC開発部 部長



高橋憲一郎  
理事  
出版局 編集統轄第三部  
統轄部長



田口旬一  
理事  
出版局 編集統轄第四部  
統轄部長



田村誠  
理事  
リストラ本部 リストラ部 部長



西澤幹雄  
理事  
出版局 出版営業統轄部  
出版営業部 部長



林田定一  
理事・情報システム事業本部  
データベースシステム事業部  
データベースシステム開発部 部長



平野正信  
理事・情報システム事業本部  
IPC事業推進部  
事業推進部長



平野義久  
理事・パーソルワクワカ事業本部  
アーバンシステム事業部  
CS推進部 部長



別所聖一  
理事  
出版局 出版総務経理部  
総務経理部長



前田一泰  
理事  
リストラ本部 本部長



三浦雅孝  
理事  
情報システム事業本部  
データベースシステム事業部 副事業部長



宮崎秀規  
理事  
出版局 編集統轄第一部  
統轄部長



武藤正直  
理事  
出版局 出版営業統轄部  
販売部 部長



山下良蔵  
理事  
出版営業統轄部  
販売部 部長



吉田穂積  
理事  
パーソルワクワカ事業本部  
インターネットワクワカ事業部  
営業部 部長



渡邊新治  
理事  
情報システム事業本部  
ワープロシステム事業部  
事業推進部 部長

## ●関連会社

# 新しい時代のニーズにお応えするために、総合力で新分野・新事業を開拓していきます。

### 株式会社アスペクト

コンピュータを情報ツールとして活用する等、先進的なビジネスマンを対象にした雑誌や一般書を出版。情報処理試験や企業の情報化システム解説書、車に関する情報誌、新しいライフスタイルの提案など、多彩なテーマに取り組んでいます。

- 本社所在地：〒151-24 東京都渋谷区代々木4-33-10 トーシンビル  
電話 (03) 5351-8191 (代)
- 設立年月日：1985年12月21日
- 代表取締役社長：小島文隆

### 株式会社アスキー総合研究所

(株)アスキーのマーケティング部門として培ってきたノウハウを集大成し、より広範な社会のニーズに対応していくことを目的に設立。データベース化した国内外の文献、資料、報道記事等を活用したマーケティング・リサーチ、各種ユーザー調査など、シンクタンクとしての事業を展開しています。

- 本社所在地：〒151 東京都渋谷区代々木4-33-10 トーシンビル  
電話 (03) 5351-8941 (代)
- 設立年月日：1986年9月17日
- 代表取締役社長：西 和彦

### アスキー映画株式会社

エンターテインメント性の極めて高い映像ソフト分野で本格的な事業展開をするために設立。海外の優れた映像作品を国内向けに配給しています。

- 本社所在地：〒105 東京都港区虎ノ門1-17-3 第12森ビル  
電話 (03) 3581-9501 (代)
- 設立年月日：1987年1月30日
- 代表取締役会長：西 和彦 代表取締役社長：佐野哲章  
代表取締役副社長：渡辺洋

### アスキーネット株式会社

パソコン通信に関するシステム構築、ネットワークの提供、新しいサービスの開発・運用などを目的に設立。アスキーネットをはじめ各種企業向けネットワークを提供するとともに、パソコン通信を活用したビジネス向けファクシミリ送信やポケットベル通信など、多彩なニーズに応える新サービスを展開しています。

- 本社所在地：〒107 東京都港区南青山6-11-1  
スリーエフ南青山ビル 電話 (03) 3797-3900 (代)
- 設立年月日：1988年1月30日
- 代表取締役社長：西 和彦

### 株式会社アスキー情報システム

(株)アスキーのオープンシステム技術をバックボーンに設立されたシステムインテグレーター。パソコンやワークステーションを核にしたオープンシステム構築を、パッケージソフトをベースにカスタマイズ。コンサルティングからハードウェアの選定、パッケージソフトの販売、アプリケーション開発まで、多彩なユーザーニーズにお応えしています。

- 本社所在地：〒151 東京都渋谷区代々木4-36-19  
トーシンビルアネックス 電話 (03) 5351-8901 (代)
- 設立年月日：1989年10月26日
- 代表取締役社長：滝田賢太郎

### 株式会社アスキー エクスプレス

緊急性が高く変更の発生しやすい業務出張にもスマートに対応できる旅行代理店です。航空券やホテルの予約など、スピーディな移動ネットワークを実現しています。

運輸省登録旅行代理店第6601号

- トラベルカウンター：〒107 東京都港区南青山5-10-5  
第2九曜ビル 電話 (03) 3797-3507 (代)
- 設立年月日：1989年12月25日
- 代表取締役社長：上月 光

### アスキー三井物産セミコンダクター株式会社

(株)アスキーセミコンダクターと三井物産電子販売(株)の統合により誕生した半導体技術商社。シリコンソフトウェアや半導体設計支援など、新しい技術分野を開拓しています。

- 本社所在地：〒105 東京都港区西新橋2-11-5 吳ビル  
電話 (03) 3502-2781 (代)
- 設立年月日：1990年3月20日
- 代表取締役会長：西 和彦 代表取締役社長：神山英昭

### 株式会社キャラクターソフト

(株)サンリオと(株)アスキーの合併により設立されたソフトウェア会社。サンリオの人気キャラクターを使用したゲームなど、ホームユースの幅を広げるエンターテインメント・ソフトを開発・販売。“女の子市場”をターゲットにしたゲームソフトをはじめ、キャラクターを活かしたユニークな商品開発を行っています。

- 本社所在地：〒141 東京都品川区大崎1-6-1  
(株)サンリオ商事部内 電話 (03) 3779-8152 (代)
- 設立年月日：1990年4月10日
- 代表取締役会長：辻信太郎 代表取締役社長：西 和彦

### ジー・シー・テクノロジー株式会社

ISDNに対応したカラー動画像テレビ電話用VLSIチップセットの商用化を目的に設立。デジタル動画像圧縮技術の広範な分野への活用に向けて、技術開発・技術支援活動を行っています。

- 本社所在地：〒151 東京都渋谷区代々木4-36-19  
トーシンビルアネックス 電話 (03) 5351-8911 (代)
- 設立年月日：1990年10月19日
- 代表取締役会長：西 和彦 代表取締役社長：錦織亨

### 株式会社アストロアーツ

星座や宇宙現象、天文学などのシミュレーション・ソフトを開発。書籍とソフトウェアを一体化したニュータイプのメディア、ディスク&ブックシリーズとして、(株)アスキーより発行しています。

- 本社所在地：〒160 東京都新宿区西新宿3-9-5  
電話 (03) 5350-0691 (代)
- 設立年月日：1991年6月24日
- 代表取締役会長：西村弘紀 代表取締役社長：永島智二

### 株式会社グラフィックス・コミュニケーション・ラボラトリーズ

郵政省プロジェクトの政府出資会社として設立。ハイビジョン品質の放送・通信・蓄積メディアの統合をめざし、デジタル画像技術の研究開発に取り組んでいます。

- 本社所在地：〒151 東京都渋谷区代々木4-36-19  
トーシンビルアネックス  
電話 (03) 5351-0181 (代)
- 設立年月日：1993年3月30日
- 代表取締役社長：西 和彦

### Crosspoint Solutions, Inc.

マスクゲートアレイと等価なアーキテクチャーを持つ高速なFPGAを開発する事を目的に1989年に設立されたFPGAメーカーです。ゲートアレイと同じ汎用CAEツールで設計が可能な独自のアンチピューズ技術を用いたCP20KシリーズFPGAを販売しています。(株)アスキーはクロスポイント社の日本総代理店です。

- 本社所在地：5000 Old Ironside Drive,Santa Clara,CA 95054,U.S.A.
- 設立：1989年11月17日
- 社長：Henri A. Jarrat COO : Bhalerao Prakash  
非常勤取締役：西 和彦、サダ・チダンバラン

### ASCII OF AMERICA, INC.

米国における通信、コンピュータ、ソフトウェア、システムなど、最先端情報の収集と(株)アスキーの活動支援、関係会社のマネージメントを目的に設立。米国企業と日本企業の提携に関してのコンサルティング、サポート業務も行っています。

- 本社所在地：1731 Technology Drive,Suite 560,SanJose, CA 95110,U.S.A.
- 設立年月日：1990年2月22日
- 会長：西 和彦 社長：サダ・チダンバラン

### HyperDesk Corporation

分散オブジェクト環境用ソフトウェアの開発・販売を目的に設立。異機種コンピュータを相互接続し、共通の操作手順のもとで運用するための次世代の基本ソフトウェア「HD-DOMS」の開発に取り組んでいます。

- 本社所在地：2000 West Park Drive,Westborough,MA 01581,U.S.A.
- 設立年月日：1990年11月8日
- 会長：西 和彦 副会長：滝田賢太郎 社長：Herbert Osher  
副社長：Jerry Levin

### ASCII ENTERTAINMENT SOFTWARE, INC.

米国市場において、ファミコンをはじめとするビデオゲームソフトや周辺機器などの企画、開発、販売をおこないます。

- 本社所在地：366A Lakeside Drive,Foster City ,CA 94404, U.S.A.
- 設立年月日：1990年12月3日
- 会長：浜田義史 社長：花輪則幸

## ■海外主要提携先／取引先

### ベンチャーキャピタル

Diversified Growth Associates (米国)  
MK Global Ventures II (米国)  
Grace Ventures Partnership III (米国)

### 出版

Addison-Wesley Publishing Company (米国)  
McGraw-Hill, Inc. (米国)  
Microsoft Press (米国)  
Ziff Communications Company (米国)  
Miller Freeman Publications (米国)  
O'Reilly & Associates, Inc. (米国)  
Prentice-Hall, Inc. (米国)

### ソフト

Macromedia, Inc. (米国)  
Informix Software, Inc. (米国)  
Nintendo of America, Inc. (米国)  
Sir-tech Software, Inc. (米国)  
Sun Microsystems, Inc. (米国)

### システム

Integrated Information Technology, Inc. (米国)  
NEXGEN Microsystems (米国)

### ネットワーク

General Videotex Corporation (米国)

### 国際加盟組織

Open Software Foundation, Inc. (米国)  
X/OPEN (米国)  
Unix International, Inc. (米国)

## ■株式会社アスキー概要 (1993年11月1日現在)

資本金 : 67億2,838万9千円  
設立年月日 : 1977年(昭和52年)5月24日  
社員数 : 790人  
本社 : 東京都渋谷区代々木4丁目33番10号 トーションビル  
大阪支店 : 大阪府大阪市淀川区宮原5丁目1番18号 新大阪サンアールセンタービル4F  
ソフトウェア開発センター(川崎) : 神奈川県川崎市麻生区南黒川12番1号  
ソフトウェア開発センター(札幌) : 北海道札幌市中央区北5条西6丁目2番2号 札幌センタービル14F  
取引銀行 : 日本興業銀行、富士銀行、さくら銀行、安田信託銀行、あさひ銀行、三菱銀行、東京銀行、住友銀行、三和銀行、兵庫銀行、日本長期信用銀行、北海道銀行、七十七銀行、東京都民銀行  
幹事証券会社 : 大和證券、山一證券、勵角證券、和光證券、国際證券、ユニバーサル證券、日興證券、岡三證券、三洋證券、ペアリング證券、ナショナル證券、アーク證券



●交通機関  
新宿駅より京王新線(都営新宿線乗り入れ)初台駅  
⇒初台駅南口より徒歩3分  
新宿駅より小田急線参宮橋駅  
⇒参宮橋駅より徒歩10分  
渋谷駅より東急バス 渋61系統「初台駅行」  
⇒代々木山谷下車徒歩3分  
渋谷駅より京王/都営バス 渋66系統「阿佐ヶ谷行」  
⇒渋63、64系統「中野駅南口行」  
⇒新宿車庫下車徒歩2分

式会社アスキー

151-24 東京都渋谷区代々木4-33-10 トーシンビル  
電話 (03) 5351-8111 (代表)

\*記載された社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。  
1993年11月1日版 ©1993 ASCII CORPORATION